



感謝忘れず 自信を持って

ただ今、卒業証書を授与された皆さん、誠におめでとうございます。皆さんは、昭和4年の開校以来、長い歴史を持つ本校で、勉学やスポーツ、地域活動などすべての課程を修了し、めでたく今日を迎えられました。

今、皆さんの脳裏には、本校でのさまざまな出来事が思い起こされていることでしょう。そのすべてが、生涯忘れ得ぬ素晴らしい財産であり、長い人生の中で必ず心の糧になります。

また、温かく指導してくれた先生をはじめ、優しく見守ってこられたご家族など多くの人の支えが、さぞ大きな励みとなり力になったことと思います。今後ともこうした人々に対する感謝の気持ちを決して忘れることなく、常に謙虚な心を持って自分自身を磨き、たゆまぬ努力を続けていただきたいと思えます。

どうか皆さんには、本校で学んだことに自信を持ち、自らの道を的確に見極めて、一步一步着実に歩み、将来を担う立派な人材に成長していただきますよう、大いに期待しています。

(市立前橋高平成18年度卒業証書授与式、3月1日、同校)

ふれあい広場

まえばし シティフラッシュ

花が会場いっぱい

花共進会が3月5日・6日の2日間、市役所で開催されました。生産者が栽培した切り花や鉢物で会場はいっぱいに。宮城地区のハナモンの無料配布もあり、訪れた人たちは足を止めて色鮮やかな花木に見入っていました。



宮田議長



真下副議長

3月2日、平成19年第1回市議会定例会が開会し、議長に宮田和夫議員、副議長に真下三起也議員を選出。会期は28日までで、一般会計予算などを審議します。

正副議長決まり予算など審議

熱演で感動の舞台に

前橋高崎市民ミュージカル「母をたずねて三千里」の公演が三月四日、市民文化会館で行われました。オーディションで選ばれた市民八十人が心を一つに名作を熱演。感動のフィナーレは、会場が割れんばかりの拍手に包まれました。



世代間の交流 文化祭で深め



清里地区

三月四日、青梨子町前原の集落センターで文化祭が開催されました。毎年この時季に、歌や踊りなどの発表と、書道や絵画などの展示をしています。十二人の小学生が生けた花も展示され、会場はとても華やか。来場者には前日から役員らが用意した赤飯や甘酒なども振る舞われ、おいしそうに食べていました。

松下博寿自治会長は「交流が盛んで、人情深く、安心して暮らせる町です。世代間交流を深め、子どもたちに町の良さを知ってもらいたいですね」と話していました。



芋煮を食べて 笑顔いっぱい



大胡地区

樋越町の養護盲老人ホーム明光園で三月三日、芋煮会が行われました。地域住民や入所者とその家族の交流を図ろうと、自治会と施設が共同で企画した催しです。春のポカポカ陽気の中、大釜で五百人分の芋や季節の野菜を煮込み、出来上がったおいしい芋煮を食べながら住民や入所者たちは和気あいあい。会場では抽選会も行われ、笑顔があふれる楽しい一日を過ごしました。

笠原弘自治会長は、「地域住民や入所者とその家族との触れ合いの場ができ、うれしいですね」と話していました。



全国少年柔道大会県予選団体が優勝

中山 拓哉さん(11)
北代田町

連続技ができるようけいこ

先月二十五日、県総合スポーツセンターぐんま武道館で開催された、第二十七回全国少年柔道大会県予選で田島道場 Aチームが団体優勝。大将として活躍し、決勝戦で優勝を

決める勝利を収めた。「先鋒から副将まで四戦とも引き分け。緊張して試合に臨みました。最後まで気を抜かず戦い、後半に体落としを決めて優勢勝ち。団体優勝ができたんです。準決勝も苦しい試合だったから、とてもうれしく、やったあとと思いきや、自分の成績も五戦して四勝一分けで良かったです」

現在、細井小の五年生。三年生の時に祖母の薦めで道場に入門した。放課後の週三回、三時間ほどけいこに励む。「始めて半年くらいは、けいこが厳しくていやでした。で

も、だんだん筋力トレーニングにも慣れ、昨年十月、県小学生総合体育大会・小五軽重量級で準優勝してから、面白くなってきました」

全国大会は五月五日、東京都の講道館で開催される。「団体戦で入賞できるように頑張りたい。そのためには強くなりたいため、得意な体落としを生かすため、連続技ができるように先生から指導を受けています」

立派な体格に恵まれ、食べ物も好き。もりもり食べて、ますますたくましく成長してほしい。